



広報



市の木もくせい



FUSSA

平成22年(2010年)

12月1日 No. 820

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

▼福生市12月の主なイベント▼

11日(土)	郷土資料室特別展示開催
11日(土)	福生市観光案内所オープン
14日(火)	NHK番組公開録画
17日(金)	施設見学会

今号の主な記事

2面市職員募集 3家具具転倒防止器具無償支給 5面固定資産に関するお知らせ 6・7面12月3日～9日は障害者週間です
9面ひとり親家庭の福祉制度 10面福生ドッグPRイベント参加店舗募集 12面新春ふっさウォーキング大会

福生市観光案内所「くるみるふっさ」 が12月11日(土)にオープンします

12月11日、福生市に観光案内所がオープンします。観光案内所では、福生の観光スポットの案内、各種パンフレットの配布、名産品の紹介・販売のほか、福生市と交流のある北海道登別市、滋賀県守山市の観光情報などの提供や名産品の紹介・販売も行ないます。また、市内の自然や歴史、国道16号沿いのアメリカンな街並み、映画の撮影地などを巡るツアーや、普段目にするのできない北海道登別市と滋賀県守山市の名産品などのフェアを毎月1～2回開催します。

この観光案内所のオープンにあわせてオープニングイベントを行ないます。ぜひご来店ください。

●福生市観光案内所の愛称が決定しました

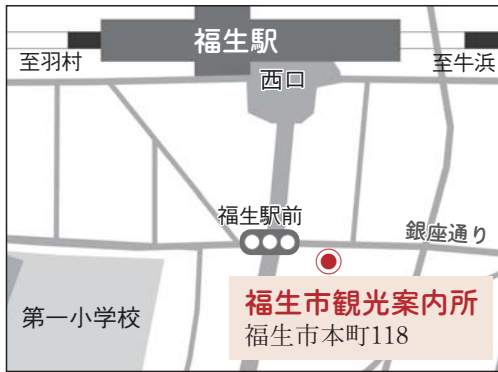
福生市観光案内所の愛称が一般公募で『くるみるふっさ』に決定しました。この愛称には、「見て触れて味わうことで福生に感動していただきたい、来て来てふっさ・見てみてふっさ」との思いが込められ、そこから『くるみるふっさ』という愛称になっており、観光案内所の目的を端的に表していることが選考の理由となりました。

●ホームページを開設します

ホームページアドレス <http://www.irs2fussa.com/fussaomise.htm>

※今後も観光案内所でのさまざまなイベントを予定しています。

問合せ 地域振興課産業振興係 ☎551-1699



オープニングイベントにご来場ください!

日時 12月11日(土)午前10時～

当日のイベント予定

- ▶午前10時～ オープニングセレモニー (関係者挨拶、テープカット、愛称募集優秀作品表彰など)
- ▶セレモニー終了後 名産品フェア(名産品の販売)、福生地場産野菜直売、登別温泉の湯の華無料配布(各回先着50名)、市内酒造場の酒かす配布(各回先着100名)
- ▶および午後2時～ 福生ドッグ試食会(先着100名、アンケートにご協力いただける方)
- ▶正午～

※名産品フェア商品、直売野菜は数に限りがあります。

SPコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、毎月1日号の奇数面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

問合せ 秘書広報課広報広聴係 ☎551-1568

★北海道 登別市の紹介

北海道の太平洋岸に位置し、9種類の泉質が湧出している世界的に珍しい多泉質の「登別温泉」と「カルルス温泉」があります。

登別市では、地域経済の活性化に向けて、地域資源を生かした特産品を「登別ブランド推奨品」として10品目認定しました。

認定品には、北海道で乳質1位を取得し、北海道土産品新作コンクールの特別賞を受賞した「のぼりべつ牛乳」やそれを原料とした「プリン」、近郊で水揚げされた「ホタテの燻製」や「たらこ」など魅力的な名産品が数多くあります。



★滋賀県 守山市の紹介

琵琶湖の南東部に位置し、江戸時代には守山宿として、多くの旅人でにぎわった中山道の宿場町で、今でも旧中山道には昔ながらの家並みが残っています。

市内には花の咲く公園が多く点在しており、全国的に大変珍しく貴重な市の花「近江妙蓮」を鑑賞することができます。また、初夏には市街地でもゲンジホタルを鑑賞することができます。

名産品は、品質の高さが多くの方に認められている「モリヤマメロン」やメロンの加工品、歴史のある「ふなずし」などがあります。



役の街づくりを進めていきたいと考えています。

市民協働 国の地域主権策の推進が期待される中、多くの自治体で市民参加と協働に関する取組が進められています。従来の行政サービスのほかに、新しい公共という概念も生まれ、もうすでに着手している自治体もあるようです。それらを実行するためには、市民との協働が不可欠です。多摩各地の協働への取組み状況と今後の課題を考えようと、東京都26市の中の調布、武蔵野、東村山、東久留米、そして福生の各市長が参加したシンポジウムが、調布市で開催されました。当日は1000人を超える方が来場され、熱心に聞いていただき、質疑も活発に行なわれました。各自自治体で状況の違いはあるものの、市民参加の市政運営を目指し、市民との協働を進めている点は、共通していると認識いたしました。今後も、他自治体のケースも参考にしながら、福生市にふさわしい市民協働のあり方や市民自治の方法を検討しながら、市民が主役の街づくりを進めていきます。

全力投球

福生市長 加藤育男



福生多摩幼稚園の園児の表敬訪問を受けて